

平成30年度入学式
福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学 新入生が入学

総勢3339名の新たなスタート祝す

【福岡歯科大学】

4月6日、福岡歯科大学本館講堂において、福岡歯科大学口腔歯学部・大学院の平成30年度入学式が執り行われ、福岡歯科大学口腔歯学部97名、大学院9名の総勢106名の新入生を迎えました。

式典では緊張の面持ちで入場した口腔歯学部新入生に対し、高橋裕大学長は「皆さんにとってこれから始まる学生生活は、人生の中で最も華やかで大切な時です。どうぞ、有意義で充実した学生生活を過ごしていただきたいと思います。」と式辞を述べるとともに、大学院入学生に対しては「これからの道のりは決して平坦ではないかもしれませんが、研究で壁にぶつかることがあるかもしれません。しかし、問題を解決することができれば、その解決する思考の進め方は、その後の研究のみならず、あらゆる



る場面で役立ちます。これからの4年間、思う存分、研究を行ってください。」と期待を寄せました。水田祥代理理事長は「皆さんは入学後の生活を楽しみに今日を迎えていることと思います。可能性はたくさんありますので、勉強にスポーツ、友人との交流、ボランティア活動に取り組むことを私達も勧めます。しかし、一つだけ忘れないでほしいことは、皆さんが歯科医師になるためには、歯科医師国家試験に合格しなければならぬということです。試験に合格するために、皆さん自身がこれから6年間、自分が歯科医師になった時の姿を想像しながら一生懸命勉強に励んで己に打ち勝ち、国家試験合格という目標を達成してください。我が福岡歯科大学は、ハード面でも、ソフト面でも皆さんをバックアップする体制を整えていますので、安心して学生生活をスタートさせてください。共に頑張りましょう!」と述べ、学園の一員となつた新入生たちへ激励の言葉を贈りました。

また、今回の入学式は国際交流提携大学であるブリティッシュコロニア大学から Ravindra Shanthi 国際部門長を来賓としてお招きし、新入生に対し「未来へようこそ。科学技術には多くの新しく奥深い発展があり、この環境で皆さんが夢を見て挑戦してくれることを願っています。」とエールをいただきました。



【福岡看護大学】

4月3日、福岡歯科大学本館講堂において、福岡看護大学の平成30年度入学式が執り行われました。第2期生113名が保護者や来賓らの祝福を受けて式に臨み、大学生活の第一歩を踏み出しました。

窪田恵子大学長は、「1期生にとっては待ち望んでいた後輩を迎え、歓迎の気持ちで一杯のことでしょうし、教職員一同同じ思いです。これから学ぶ看護学を中心になるのは、人間です。その人らしい最適な暮らし(well-being)を支えるために、皆さん自身が、日頃から周囲の人に関心を持ち、多くの人と関わり、他者から学ぶこと。色々な本を読み知識だけでなく感性を磨くなどが重要です。そのためには、サークル活動やボランティア活動など学生時代しかできないことにもチャレンジしてください。」と新入生を激励しました。また、水田祥代理理事長は、「新入生の皆さんは、これから後世に残る本学の伝統や文化の礎を1期生の先輩方と共に作ってください。そして、皆さん自身が、豊かな人間性と幅広い教養を備え、個々の患者さんの立場を考えた最新最適な看護を实践できる知識と技能を培われることを期待しています。」と述べました。



【福岡医療短期大学】

4月9日、福岡歯科大学本館講堂において、福岡医療短期大学の平成30年度入学式が執り行われ、歯科衛生学科77名、保健福祉学科12名、専攻科31名の総勢120名の新入生が入学しました。式辞の中で北村憲司短大理事長は「新入生の皆さんは若さと希望という無限の可能性を持つており、皆さんの前には洋々たる未来が広がっています。福岡医療短期大学での学びを未来への羅針盤として勇気を持って、且つ、安全に歩を進めてください。自信と誇り、そして感謝の気持ちを持って、福岡医療短期大学での学びを人生の転換点とできるよう、勉学に精励してください。」と述べました。また、水田祥代理理事長は、「歯科衛生学科新入生の皆さんは「口腔ケア」を実践できる歯科衛生士に、専攻科新入生の皆さんは「口腔ケア」「医療的ケア」のできる介護福祉士になれるよう、教育にあたられる学長、学科長、臨席しておられる先生方の懇切丁寧なご指導をいただき、楽しく充実した有意義な学生生活を送ってください。」と希望に胸を膨らませた新入生にエールを送りました。

